

Statement for Japanese Patent Application Publication No.
Tokuko-sho 37-10108

This document discloses a magnetic core 1 which is configured by a plurality of rod-shaped elements 2 which are arranged in parallel to one another.

特 許 庁

特 許 出 願 公 告

56 B 192
(98 A 21)

特 許 公 報

昭37-10108

公告 昭 37.8.3 出願 昭 35.6.24 特願 昭 35-29280

発 明 者 大 丸 洋 一
出 願 人 松下電線産業株式会社
代 表 者 松 下 幸 之 助
代理人、弁理士 島 田 堅 三

大阪府北河内郡門真町大字門真 1006 松下電線産業株式会社内
大阪府北河内郡門真町大字門真 1006

(全2頁)

インダクタンス結合装置

図面明簡単な説明

第1図は本発明装置の一実施例の斜視図、第2-5図はその調整状態を示す側面図である。

発明の詳細な説明

本発明は例えばラジオ受信機、テレビ受像機等（特にトランジスターを使用するもの）のアンテナコイルとして使用するインダクタンス結合装置に関するもので、強磁性体の複数の棒状心体を平行に並べて磁心を構成し、この磁心の全体としての周囲に1次巻線を巻回すると共にこの棒状心体の一部のものの周囲に2次巻線を巻回したインダクタンスの結合装置に係るものである。而してその目的とするところは1次、2次両巻線の巻線比を整数比より無理数比までの広範囲に変更し得ると共に両巻線の結合係数を任意に選び得るインダクタンス結合装置を提供せんとするにある。

以下図面につき本発明装置の一実施例の構造、作用等を説明すると、1はフェライトのような強磁性体よりなる複数の棒状心体2を平行に並べて構成した磁心でこの磁心の全体としての周囲には1次巻線3を巻回し又心体2の一部例えば2本又は3本の周囲には2次巻線4を巻回するものである。

本発明装置は例えば第2-5図に示すに2次巻線4を巻回する棒状心体2の本数を変更することにより1次巻線3及び2次巻線4の巻線比を整数比から無理数比まで任意に

変更することができ、又1次巻線3と2次巻線4との間隔を変更することにより両巻線の結合係数を広範囲に変化せしめることができる。

従来のこの種装置は1本の磁心に1次巻線及び2次巻線を巻回するものであるから磁心の中央部附近では磁束が殆んど漏れせず従つて1次巻線と、2次巻線との巻線比はこれを整数比にししかできなかったが本発明装置は前記のようにこの比を整数から無理数比まで容易に変更せしめることができる。これに1次巻線と2次巻線との間隔を変更することにより両巻線間の結合係数を広範囲に変更することができる。従つて本発明装置を例えばラジオ受信機、テレビ受像機等のアンテナコイルとして使用するときその1次側に同調コンデンサを又2次側に入力回路を夫々接続すれば結合度の任意性により（特に短波帯で1次巻線の巻回数が多いとき）インピーダンスマッチング及び同調回路の負荷時のQを任意に設計することができるから受信機又は受像機の選択度の向上と、映像妨害比の向上とを図ることができその効果大である。

特 許 請 求 の 範 囲

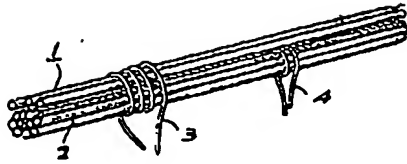
1 複数の強磁性体よりなる棒状心体を平行に並べて磁心を構成しこの磁心の全体としての周囲に1次巻線を巻回し、前記棒状心体の一部の周囲に2次巻線を巻回してなるインダクタンス結合装置。

BEST AVAILABLE COPY

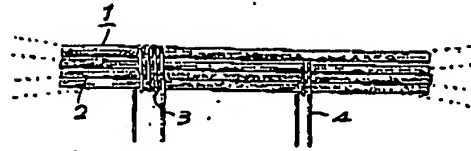
(2)

特公昭37-10108

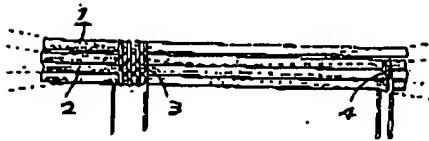
第1圖



第2圖



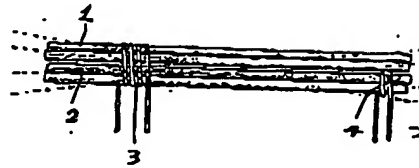
第3圖



第4圖



第5圖



BEST AVAILABLE COPY